

政策分析シート（令和7年度）

政策名	良好で快適な生活環境の形成	政策No	08	部名	防災都市づくり部		
				部長名	松崎	内線	2800
関連部名	環境清掃部						
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市					

目的 住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図る。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		4年度	5年度	6年度	
①	生活環境の充実	3.24	3.24	3.27	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？
②	まちなみの良さ	3.03	3.04	3.06	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
③	周辺環境の快適さ	3.13	3.08	3.07	お住まいの地域で、生活する上での不快感を感じますか？
④					
⑤					
⑥					
⑦					

指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度 見込み	目標値 (8年度)	
①	公園・児童遊園面積 (ha)	45.3	45.3	45.2	45.1	48.0	
②	住みよいと感じる人の割合 (%)	92	93	90	92	-	区政世論調査
③	細街路後退用地整備率 (%)	48	49	50	51	52	整備延長／整備対象道路延長両側 (自主整備含む)
④							
⑤							
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	5年度	6年度	差額	5年度		6年度	差額		
行政費用	給与関係費	450,240	439,595	▲ 10,645	地方税等	0	0	0	
	物件費	912,516	1,029,244	▲ 116,728	国庫支出金	29,457	8,930	▲ 20,527	
	維持補修費	370,609	465,883	95,274	都支出金	37,062	45,394	8,332	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	3,337	3,337	
	補助費等	93,650	101,000	7,350	使用料及び手数料	1,107,632	1,111,023	3,391	
	減価償却費	409,781	426,390	16,609	その他行政収入	130,919	142,419	11,500	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,305,070	1,311,103	6,033	
	賞与・退職給与引当金繰入額	68,849	62,260	▲ 6,589	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 1,688,526	▲ 2,046,172	▲ 357,646	
	その他行政費用	687,951	832,903	144,952	金融収支差額(d)	▲ 686	▲ 627	59	
	行政費用合計(b)	2,993,596	3,357,275	363,679	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 1,689,212	▲ 2,046,799	▲ 357,587	
特別費用(g)	2,419	1,148	▲ 1,271	特別収入(f)	0	1,146	1,146		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 2,419	▲ 2	2,417	当期収支差額(e)+(h)	▲ 1,691,631	▲ 2,046,801	▲ 355,170		

貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	5年度	6年度	差額	5年度		6年度	差額		
流動資産	収入未済	11,508	10,193	▲ 1,315	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	6,454	6,514	60	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	25,535	24,884	▲ 651	
固定資産	有形固定資産	237,459,909	242,022,366	4,562,457	その他の流動負債	0	1,064	1,064	
	土地	218,772,680	223,136,064	4,363,384	固定負債	357,434	343,437	▲ 13,997	
	建物	7,377,830	7,901,901	524,071	特別区債	63,649	57,135	▲ 6,514	
	建物減価償却累計額	▲ 4,049,130	▲ 4,653,765	▲ 604,635	退職給与引当金	293,785	277,254	▲ 16,531	
	工作物等	21,881,401	22,350,654	469,253	その他の固定負債	0	9,048	9,048	
	工作物等減価償却累計額	▲ 6,522,871	▲ 6,712,489	▲ 189,618	負債の部合計	389,423	375,899	▲ 13,524	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	237,251,305	242,031,931	4,780,626	
建設仮勘定	157,886	353,670	195,784	正味財産の部合計	237,251,305	242,031,931	4,780,626		
その他の固定資産	11,425	21,601	10,176	負債及び正味財産の部合計	237,640,728	242,407,830	4,767,102		
資産の部合計	237,640,728	242,407,830	4,767,102						

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用の約3割を道路や公園、児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占め、1割強を道路の改修事業等に係る維持補修費が占めている。
- 有形固定資産が大幅に増加しているが、これは都市計画公園事業用地の取得に伴うものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成6年度には20.3haであった公園等の面積を着実に増加させている。令和6年度には町屋公園整備のために尾竹橋公園を一旦廃止したが、荒川四丁目公園の新設や荒川二丁目公園の拡張を実施した。</p> <p>○令和4年度の路面下空洞調査により発見した空洞について順次補修を行っている。また、都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを提供するため、バラの継続的な維持管理に取り組んでいる。</p> <p>○居住環境については過去、住商工が共存していたが、再開発事業の進展や民間マンションの建設等によるまちづくりが進んできている。</p>
課題	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。</p> <p>○区民の最も身近な都市施設である道路をいつまでも安全かつ安心して利用できるよう、適正な維持管理及び拡張・改修等の整備を行う必要がある。また、都電のバラについては、より華やかさを演出できるように、植栽の工夫を行うとともに、バラを区民と育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動により一層充実させる必要がある。</p> <p>○定住人口の維持・促進を図るため、高齢者・障がい者・子育て世代などの住宅確保要配慮者を含め、誰もが安全安心で快適に暮らせる居住環境を整備する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる公園等の整備に努め、花と緑を通して幸せを実感できる街づくりを推進していく。</p> <p>○通常の維持管理や道路ストック総点検の結果に基づく計画的な補修を行う。また、都電のバラについてはフェンスを活用しつつバラの植栽を実施するとともにボランティア活動の活性化を図るなど、住みやすく快適な街を形成していく。</p> <p>○下町の風情を残した街並みを生かしながら、新たな開発と調和した居住環境の整備及び魅力ある景観づくりを推進していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
緑とうるおい豊かな生活環境づくり	重点的に推進	重点的に推進	心豊かな区民生活に寄与するために、公園等の整備を促進するとともに、官民協働により花と緑のまちづくりを推進する必要がある。また、地域の防災性向上のために、目標とする公園等の面積確保に向けて積極的に取り組む必要がある。
快適な居住環境の形成	推進	推進	良質で良好な居住環境を確保し、快適に暮らせる街づくりの取組みを推進する。
快適な生活道路の整備	推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。
まちの美化の推進	推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を推進する。